

〈法人全体総括〉

令和3年度は、社会福祉法人に求められている運営の透明性、組織体制の強化、地域社会に貢献する責務等を重点事項に掲げその充実に努めてまいりました。法人運営全般について実施状況をご報告いたします。

1. 重点事項の実施状況

福祉サービスの充実を図るため、重点事項として利用者の確保と職員の人材確保を掲げましたが、利用者の確保については、通所系がコロナウィルス感染症の流行により、利用を控える方が多く、利用率の低下が目立ちました。施設入所者の確保については、各サービス支援事業所を通して、積極的に利用者の受入れを図っております。人材確保においては新卒者1名を採用し、そのほか退職に伴う採用補充については中途採用者を確保することが出来ました。職員の資質向上については、コロナウィルス感染予防等により、研修会や会議への参加が困難な状況下、オンライン研修や施設内職員研修等に取り組んでまいりました。また、ハラスメント防止等に関する規定を整備し、法人職員研修会を開催し、職員の利益保護を図りました。職員給与等処遇面においては、特定処遇改善加算等による収入を確保し、また令和4年2月からは国による経済対策の一環とした、介護職員の賃上げについても法人として対応し、すべての職員に支援手当として支給するなど処遇改善を実施し、職員の労働環境の整備を図っております。

また、地域社会との繋がりにおいては、例年実施され、地域との交流を図ってきた柏台の夏祭りや各施設の行事等が新型コロナウイルス感染拡大により中止を余儀なくされております。

2. 施設運営状況

柏仁会の運営する3施設については、利用者の基本的人権を守り、安全、安心の処遇体制を実施してまいりました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、各施設とも職員行動指針を策定し、周知を図るなど感染防止に全力を挙げているところでありますが、職員数名が感染しましたが、いわゆる利用者等のクラスターの発生には至りませんでした。各施設においては、それぞれの特徴や機能を生かし、特段の大きな事故等もなく事業を運営しております。

詳細については、各施設の事業報告にてご報告申し上げますが、今後とも地域に根ざした施設運営に努めてまいります。

### 3. 財務状況

令和3年度は、介護報酬等の大きな増額を見込めず、福祉サービス等利用者の増減が収入に跳ね返ってくる厳しい経営状況でありました。

令和3年度柏仁会会計資金収支決算状況を見ると、収入全体では前年度対比で収入増となっております。支出では、人件費については、昇給及び特定処遇一時金や処遇支援手当の支給等により前年度決算額に比べ増額となり、事業費支出については水道光熱費、燃料費などの高騰により前年度より大幅に増額となりました。当初予算に計上した修繕積立金の取り崩しについては減額したものの一部取崩しを実施しましたが、年度末の当期資金収支差額は赤字となっております。拠点区分別に見ると、福祉エリア「ありす刈和野」においては、他施設からの繰り入れにより補われている状況であり、ありす刈和野運営改善計画書により経営改善を目指すと共に、法人が運営する各事業所における計画的な利用率の向上と、収支バランスのとれた事業運営が必要であることから、経費の見直しを含めた運営の在り方を引き続き検討することとしております。財務管理における社会福祉充実残額については、残額が発生しないため社会福祉充実計画の策定は不要となっております。

### 4. 職員の動向

令和4年3月31日現在（令和4年3月31日退職者5人を除く）の柏仁会総職員数は138人で、前年度末と同数となっております。職員配置の状況は、総合職員96人（70%）、施設職員10人（7%）、嘱託職員6人（4%）、パート職員26人（19%）となっております。詳細については、施設ごとに職員の動向を記載しております。

事業計画の基本方針では、職員の人材確保、資質向上を図り、希望をもって働ける職場環境を整えることを目標に掲げておりますが、離職者もいることから、利用者の直接処遇に関わる介護人材の確保は依然厳しい状況であります。今後も継続的に福祉専門学校や近隣の高等学校などに積極的に働きかけをし、新卒者の募集及び確保に努めてまいります。

### 5. 会議開催状況

- |               |              |
|---------------|--------------|
| (1) 理事会       | 4回（別添：議案整理表） |
| 理事協議会         | 1回（別添：議案整理表） |
| (2) 評議員会      | 3回（別添：議案整理表） |
| (3) 理事長・施設長会議 | 毎週の理事長決裁時に開催 |